

「特別の教科 道徳」の 全面実施に向けて ②

～授業力を高める研修会の工夫～



平成28年度 道徳教育実践研究のまとめ
兵庫県道徳教育実践推進協議会
兵庫県教育委員会

はじめに

我が国の学校教育において道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものとされています。国においては、これまでの間、学校や児童生徒の実態などに基づき道徳教育の重点目標を設定し充実した指導を重ね、確固たる成果を上げている学校がある一方で、例えば、他教科に比べて軽んじられていること、主題やねらいの設定が不十分な単なる生活経験の話し合いや、読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われる例があることなど、多くの課題が指摘されてきました。

文部科学省では中央教育審議会の答申を踏まえ、平成27年3月に学校教育法施行規則を改正し、「道徳」を「特別の教科 道徳」とするとともに、学習指導要領の一部改正の告示を公示しました。改正では、いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものとする観点からの内容の改善、問題解決的な学習を取り入れるなどの指導方法の工夫を図ることなどが示されました。道徳教育は言うまでもなく、特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることではありません。これらは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければなりません。多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質です。この主旨を簡潔に表したものが「考え、議論する道徳」になります。

一方、本県においては、これまで道徳の授業において、例えば読み物教材を使用し授業を展開する中で、児童生徒にねらいとする道徳的価値に関するキーワードを発表させるだけで終わるなど、児童生徒に道徳的価値の自覚が深まっていない授業もあるといった課題が道徳教育実践推進協議会から指摘されました。

そこで、これまで本県が展開してきた道徳教育推進事業を踏まえ、道徳の教科化に向けて平成27年度から「『道徳の時間』の教員の実践的な指導力の向上」を最重要課題として各事業を推進してきました。その成果として、平成27年度末には「教材分析シート」の活用等、授業準備を意識した指導資料「『特別の教科 道徳』の全面実施に向けて」を作成・配布しました。

さらに教科化への準備として2年目となる今年度は、平成27年度の取組を踏襲しつつ、道徳教育実践研究推進地域として県内10地域を指定し、特に「対話」を重視した道徳の授業をテーマとするとともに、それを客観的な視点から分析できる「授業記録」を活用した校内研修のあり方について研究してきました。

この度、これらの取組の成果を「道徳教育実践推進協議会」の協力のもと、本冊子にまとめました。各学校においては本冊子を活用した授業研究を促進し、「特別の教科 道徳」の全面実施に向けた道徳教育を充実させ、兵庫の子どもたちの豊かな心を一層育成していくことを期待します。

最後になりましたが、本冊子を発行するにあたり御尽力いただきました「道徳教育実践推進協議会」の横山利弘委員長をはじめ委員の皆様、各推進地域の皆様に心から感謝申し上げます。

平成29年3月

兵庫県教育委員会

【目 次】

I 章 これまでの兵庫県における道徳教育の取組 1

II 章 道徳の授業力向上のために 3

III 章 効果的な授業後の研修のために10

IV 章 「授業記録」例13

V 章 資料

1 学習指導要領における道徳教育の指導の観点（内容項目）21

2 授業記録シート23

3 平成28年度 道徳教育実践研究事業推進地域等24

I章 これまでの兵庫県における道徳教育の取組

本県ではこれまで学習指導要領及び「ひょうご教育創造プラン」に基づき、児童生徒の豊かな情操や規範意識、他者への思いやり等の道徳性を育成するため、心の教育の基盤となる道徳教育の充実を、兵庫型「体験教育」と「道徳の時間」をはじめとする学校の教育活動全体でそれぞれの特性を生かし図ってきました。

(本資料では、現行の学習指導要領に改訂された平成20年度以降の取組を中心に記述しています。)

平成20年度 全県研修開始

- 県内全ての道徳教育推進教師を対象とした全県研修を開始
- 地域教材を開発・活用した「道徳教育実践事例集」を作成



(平成20年度)

平成21～22年度 兵庫版道徳教育副読本作成

- 指導の手引き「『生命を尊重する心』と『規範意識』の育成」配布
- **兵庫独自の副読本の開発**
道徳教育のさらなる充実を図るため、兵庫ゆかりの人物・伝統文化・自然を取り上げた読み物資料及び震災資料を中心とした兵庫版道徳教育副読本を作成 (平成21～22年度)



(平成21年度)

平成23～26年度 兵庫版道徳教育副読本活用開始

- 道徳教育実践推進協議会の設置 (平成23年度～)
- **兵庫版道徳教育副読本の活用を開始** (平成23年度～)



- 副読本の配布にともない、教師用指導案を提示 ※県教育委員会義務教育課HPからダウンロード可能
- 道徳教育推進地域では、副読本を活かした道徳の授業を実践研究
- 副読本の効果的な活用をテーマとした全県及び地区別研修の実施

〈参考〉国の動き

平成26年度～ 道徳教育用教材「私たちの道徳」活用開始

平成26年10月 中央教育審議会「道徳に係る教育課程の改善等について」(答申)
「考え、議論する道徳」道徳科への転換

平成27年3月 学習指導要領の一部を改正し「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」として位置付けられる。
全面実施 小学校：平成30年4月～
中学校：平成31年4月～

平成27年度 授業力向上を目指した研修

- 道徳の教科化に向けた最重要課題として、授業力向上を位置付け
- 全県及び地区別研修では「模擬授業」を積極的に取り入れた実践的な研修

平成28年度「授業記録」を活用した校内授業研修の充実

- 「対話」を重視した授業を研究
- 「授業記録」を活用した校内授業研修の充実
- 平成29年度の研修テーマは「評価」（予定）（道徳教育実践推進協議会より）

これまでの「指導資料」



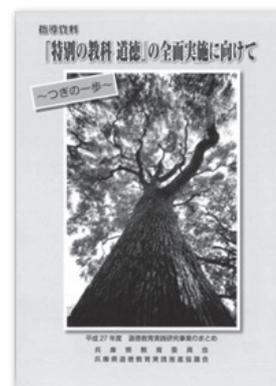
平成24年度



平成25年度



平成26年度



平成27年度

※県教育委員会義務教育課HPからダウンロード可能

トピックス

〈道徳教育の充実によるいじめの防止に向けて〉

いじめの問題は、学校教育において取り組まなければならない喫緊の課題です。いじめの防止は、道徳教育の目標そのものにつながります。いじめを行う人間の卑劣さやいじめを傍観する人間の卑怯さ等について、子どもが自覚できるよう「道徳の時間」の取組の充実が求められています。

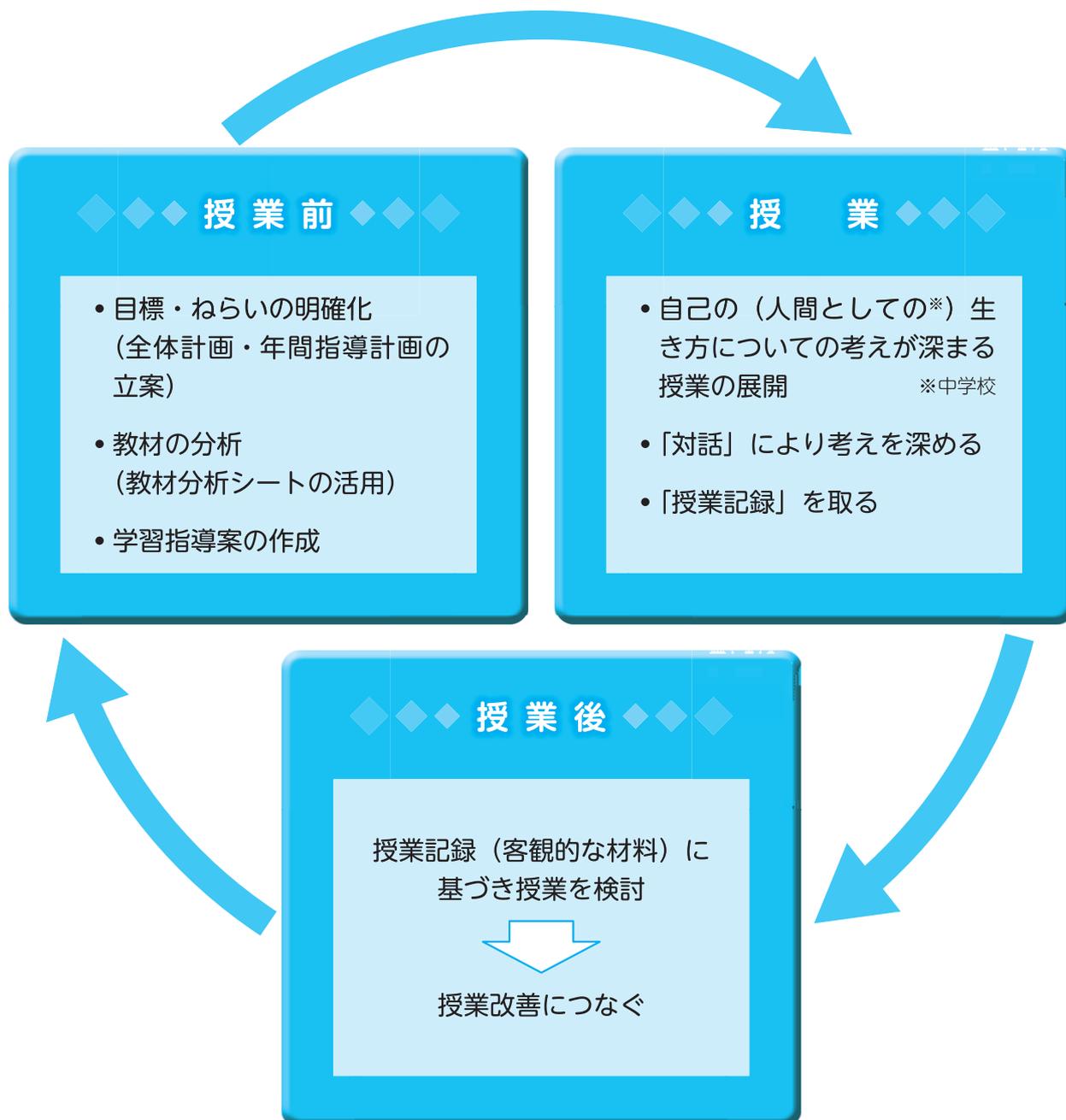
加えて、これまで「道徳の時間」の指導が、前述のように道徳的諸価値の自覚が深まっていない授業もあるといった課題も指摘されています。

これからは、「対話」を通して子どもたち一人一人が考える授業、道徳的諸価値の自覚が起る授業を進めると同時に、特にいじめに関しては、「公正、公平、社会正義」「相互理解」「友情、信頼」等の学習を通して、いじめの問題を自分のこととして捉え、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う授業を展開することが大切です。

Ⅱ章 道徳の授業力向上のために

各学校において、道徳の授業を実施するにあたって、その準備、実践、振り返りとして、授業前、授業、授業後の各場面で取り組むべき様々なことがあります。ここでは、その中から、道徳の授業力向上のために大切なポイントを挙げます。

授業力向上のためのポイント

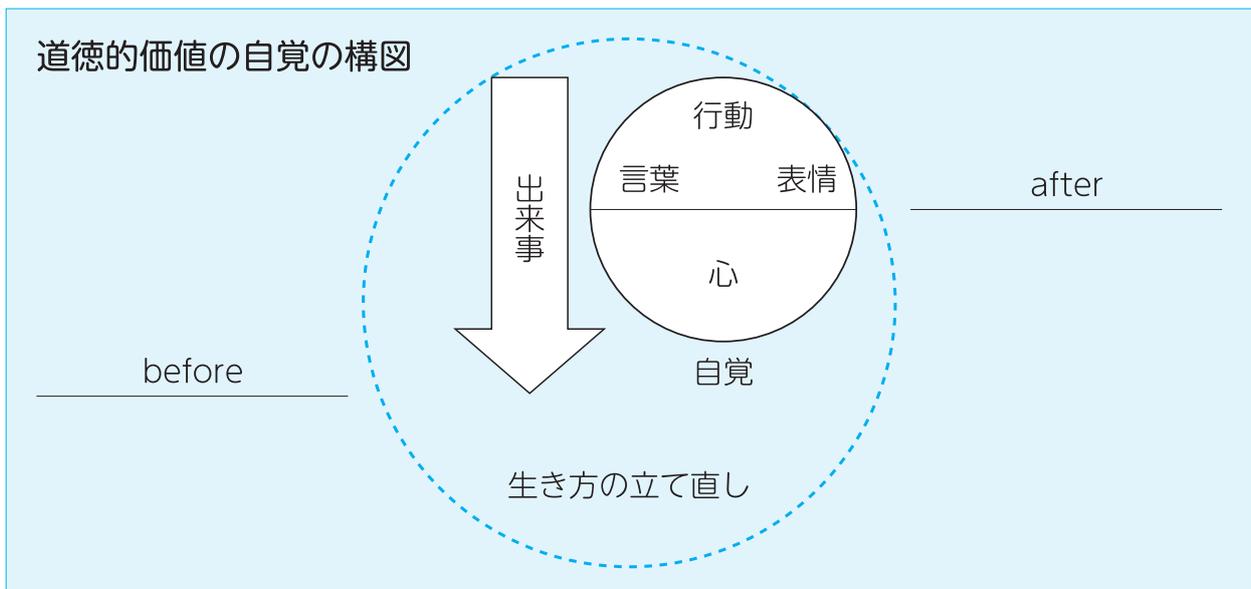


教材の分析

授業を左右する最も大切なことは、授業者が教材に描かれている人間の生き方と、そこに含まれる道徳上の問題（道徳的価値）をしっかりと読みとることです。これなくしては、ねらいに迫ることはできません。

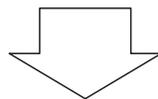
多くの教材には、登場人物の道徳的变化の様子が描かれています。道徳的变化は、主人公が道徳的諸価値の重要性を自覚することによって起こっています。この場合、単に「知」っていることと「自覚」することを区別する必要があります。

例えば、誰もが震災前から水が大切であることは知っていました。しかし、本当に水が大切と自覚したのは震災が起こってからです。同様に私たちは、生命の尊さや思いやりといった道徳的価値を「知」っています。しかし、普段はあまり意識していません。ところが、何かの出来事が自分や身近に起こったときに身にしみて感じ、その価値を深く「自覚」します。そして、その後の生き方につながります。そのことを図にすると次のようになります。



1 教材分析 ——「教材分析シート」を活用

「教材分析シート」を活用すると比較的容易に教材分析ができます。詳しくは、平成27年度 指導資料『特別の教科 道徳』の全面実施に向けて」（平成28年3月 兵庫県教育委員会）のP 9～12に示しています。



2 「学習指導案」を作成

教材分析をした後、学習指導案を作ります。

以下に「忘れない夏 - 嘉藤栄吉 -」（心ときめく）の教材分析シートと学習指導案の一例を示します

〔例〕 「道徳の時間」 学習指導案

1 主 題 希望と勇気、努力と強い意志 (A 主として自分自身に関わること)

2 教 材 「忘れない夏 - 嘉藤栄吉 -」 (心ときめく 5・6年)

3 ねらい

3日間考え続けた時に、頭の上でひびいた「頭を上げろ！ 胸を張れ！」という言葉により道徳的に変化する主人公を通して、苦しくてもくじけず、前向きに努力しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

4 主題設定の理由

自分の目標に向かって努力し、よりよい自己を表現しようとすることは大切なことである。しかし、時には自分自身に自信がもてなかったり、思うような結果が得られずに失敗を重ねたりすることもある。苦しくても、くじけずに努力してやり抜き、失敗を重ねながらも夢を実現した人に触れ、希望を持つことの大切さや、困難を乗り越える人間の強さについて考えることを通して、児童の中により積極的で前向きな自己像が形成されるようにすることが大切である。

本学級の児童は、元気で明るく、学級全体で話し合っただけで決めた遊びやイベント、係の活動など積極的に参加しようとし、その目的に向かって自分で役割をみつけ、行動に移せる児童が多い。しかし、これまでに経験したことがない事柄や、一人で挑戦しなければならぬ事柄には消極的になり、失敗をおそれるあまり取り組もうとしなかったり、「どうせできない」と初めからあきらめたりする児童もみられる。また、学習や友だち関係でうまくいかなかった事柄に自信をなくし、前向きに生活できていない児童もいる。

本教材は、1933年全国中等学校優勝野球大会での「伝説の球児たち」の一人嘉藤栄吉さんを題材にしたものである。延長25回0対0の試合で自分のたった一度のミスからサヨナラ負けをしてしまい、自分自身を責め続け、失敗に思い悩む嘉藤さんだったが、竹山部長の「頭を上げろ！ 胸を張れ！」の言葉がひびき、やっと前を向くことができた。失敗をしても、くじけずに努力し、前向きに生きることのすばらしさを感じることでできる教材である。

指導にあたっては、嘉藤さんが失敗して試合に負けてしまった状況がわかるように、説明を加えながら、ゆっくりと教材の内容を整理してから話し合えるようにする。まず、3日間にわたり自分の失敗を責め続けて悔やむ嘉藤さんの様子から、どれほど嘉藤さんが苦しみ、悩んでいるかを捉えさせておく。次に、4日目にやっと「頭を上げろ！ 胸を張れ！」という言葉が頭の上でひびき、立ち上がった嘉藤さんの心情を考える中で、立ち上がる勇気や希望をもつことのすばらしさを捉えさせる。前向きになれた嘉藤さんの心情を話し合い（「対話」を通して）、3日間閉じこもって下ばかりを見ていた後悔だけでなく、3日間悩んだからこそ、竹山部長の言葉がひびき、希望をもつ勇気が得られたことに気付かせていきたい。そして、失敗をしても立ち上がる勇気、あきらめない心をもった嘉藤さんの強さにふれ、苦しくても前向きに努力しようとする意欲につなげたい。

5 学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応 ◇評価	指導上の留意点
導入 2分	<ul style="list-style-type: none"> 写真を見て感想を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 0ばかり。 25回まで0対0。 	<ul style="list-style-type: none"> ○25回続くスコアボードの写真を見せ、本教材に興味をもたせる。
展開 36分	<ul style="list-style-type: none"> 教材の範読を聞く。 失敗を悔やみ、自分を責め続けた嘉藤さんの心情を考える。 苦しくてもくじけずに、希望を持って前向きになった嘉藤さんの強さについて考える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>嘉藤さんは、どんなことを考えて、頭を上げられなかったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分のせいで大切な試合に負けてしまった。 申し訳ない。 自分の所にボールが飛んでこなければよかったのに。 どのつらを下げて明石にもどれるんだ。 逃げ出したい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「頭を上げろ！胸を張れ！」という言葉が頭の上でひびき、立ち上がった嘉藤さんはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> </div> <p>(後悔)</p> <ul style="list-style-type: none"> 下ばかり向いていて弱い自分だった。 失敗したことばかり考えていてはダメだ。 くよくよするのはやめよう。 <p>(感謝)</p> <ul style="list-style-type: none"> 竹山部長はぼくのことを考えて言ってくれたんだな。 ありがたい。 <p>(生き方・気付き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前向きにがんばろう。 努力を続けよう。 逃げてはいけなかったな。 未熟な自分を磨こう。 堂々と胸を張って生きよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の様子が伝わるようにゆっくり読む。 ○野球のルールがわかりにくい児童も内容を捉えられるよう、要点を整理していく。 ○4日目からの気持ちの変化を捉えやすいよう対比して板書する。 ○補助発問① 「竹山部長が嘉藤さんに伝えたかったことはどんなことでしょうか。」 <ul style="list-style-type: none"> 前向きになってほしい。 下ばかり見ている嘉藤さんに元気を出してほしい。 あきらめてはいけない。 ○補助発問② 「グラウンドへかけ出しながら嘉藤さんはどんなことを考えているのでしょうか。」 <ul style="list-style-type: none"> がんばるぞ。 もう一度やってみよう。 くよくよした自分とはちがう自分だ。
終末 7分	感想を書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>今日の授業で考えたこと、思ったことを書きましょう。</p> </div> <p>◇失敗してもくじけず努力することの大切さに気付くことができたか。</p>	

「前理解」から「理解」「自覚」の授業へ

教科の場合、授業を始めるとき子どもは「知らない（無知）」状態です。そして授業の中で「知る」のです。そこに子どもの喜びがあります。

ところが道德の授業では、道德的なことは「既に知っている（前理解）（例：困った人がいれば助ける）」ので、新しい学びがなければ子どもに新しいことを知る・学ぶ喜びは味わいにくいのです。分かりきったことや書いてあることを発表するだけでは子どもは満足しません。

しかし、例えば「友情」というものを知っていたつもりであっても、先生や仲間の発言を通して、改めて考え直し、本当の意味では知らなかったことに気付きます。その道德的価値がストーンと腹に落ちるような「自覚」にいたる授業をすると、子どもは楽しいと感じるので

「対話」により、考えを深める授業へ

一人でものを考えるには、限りがあります。他の人と「対話」をする中で自分の考えを確認したり、他者の考えから新しい気付きがあったりするものです。道德の授業では、道德的価値や人間としての生き方について「対話」を深める中で、道德的価値の自覚に近づきやすくなります。道德の授業における「対話」は、相互のやり取りを通して、日ごろ考えない自己の生き方について自覚しようとするプロセスです。

先生の発問に対して子どもはそれぞれ考えを言いますが、一問一答では、「対話」をしていることにはなりません。大事なことは、いろいろな考えを言えるように「対話」を発展させることです。それをリードするのは先生です。

**「対話」を
深めるために**

「受容」をしよう

「対話」が行われるには、発言を「受容」することが重要です。

授業においては、子どもが発言しているその心の内にあるものを受け止め、受け入れることです。つまり、先生がしっかりと「聞く」姿勢を持つことです。

そのためには、日ごろの生活において、すべての子どもが安心して語れる学級づくりをすることが大切になります。

「対話」を 深めるために

「問い返し」をしよう

「受容」すると「問い返し」ができます。子どもの発言にしっかりと耳を傾けて心を聞きましょう。するともう少し聞いてみたいものが見えてきます。

「何を言いたいのだろうか」「抽象的な言葉を使っているけれど、この子はそれをどのように捉えているのだろうか」「もっと詳しく聞きたいな」と、先生は思うはずで

す。
それを子どもに問きましょう。

子どもが語る本意を「聞く」ことから、様々な「問い」が生まれてきます。例えば、「やさしいってどういうこと?」「やさしいと親切は同じ?」「すごいこと言ったね。思いやりって何だろう?」など、道徳的価値に迫ったり、深めたりするための「問い返し」をしていきます。

「誰がした?」「それからどうした?」「どこで?」など場面を追って細かく聞くだけでは、「問い返し」とは言えないことに気を付けましょう。

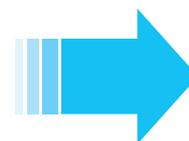
「授業記録」を取る

授業の改善を図るために、あとで授業を振り返ることが大切ですが、一般的に授業の感想を語り合うだけでは不十分です。

客観的な材料に基づいて授業を分析することで、授業後の研修会は充実したものになります。

ぜひ「授業記録」を取りましょう。

第Ⅲ章では、校内研修等において、「授業記録」を分析する視点等について記述しています。



Ⅲ章 効果的な授業後の研修のために

授業力の向上を図るためには、授業を振り返り、分析する必要があります。その材料となるのが「授業記録」です。

なぜ「授業記録」を取るのか

授業後の研修会で、参観者が授業の感想を述べ合うだけでは本当の授業改善には結びつきません。

先生の発問、子どもの発表やつぶやきなど授業の一部始終を記録した「授業記録」は、客観的な事実に基づいた材料となります。この材料を研修会に参加している全員で共有し、共通の視点を基に考えることで、授業を構造的に理解し、改善点の発見につなげることができます。

「授業記録」の取り方

- 先生や子どもの発言すべてをそのまま書き留めます。
- 子どもの小さなつぶやきや、一斉に声を上げたことも記録します。
- 記録者が勝手に要約したり、まとめたりしないようにします。
- 複数で記録するとより正確なものになります。
- 手書きでかまいません。

☆なかなか一言一句すべてを書き留めることは難しいですが、あるがままにすべてを書き取ることが基本です。学年や学校全体で取り組んでみましょう。

例：人間としての修行 — 鶴澤友路 — 兵庫版道徳教育副読本 心 かがやく

時間 (分 秒)	教 師	名前	児 童
20' 00	<p>友路は、修行したのにまた呂調に断られたんだね。それで考えた。何でやろう。腕は相当なものになっているのにと。そこへ母の声が聞こえた。それで気付きます。今日はここを考えます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>その日の夜、一人考えた友路が気付いたことは何だろう</p> </div> <p>Aさん なるほど、腕じゃない何？ いいね。そのすばらしさは何？ ええこと考えたよ。また後でわかったら言ってね。</p>	A A A	<p>(しばらく無言)</p> <p>腕じゃない。 人間としてのすばらしさ ……わからん</p>

「授業記録」を 分析する視点

① 子どもたちは、ストーリーを正しく捉えることができたか。

② 先生の問題が明確に子どもに伝わっていたか。

③ 先生は、子どもの発言をきちんと「受容」していたか。

④ 先生の問題（発問）は、ねらいに迫るために本当に有効な問題（発問）であったか。

⑤ 先生の「問い返し」は、より深く考えるために有効であったか。

⑥ 子どもたちは、道徳的価値について多面的・多角的に考えることができたか。

⑦ 子どもたちは、道徳的価値の理解を深めることができたか。

⑧ 子どもたちは、自己の（人間としての※）生き方について考えることができたか。

※中学校

IV章 「授業記録」例

第Ⅲ章で示した授業分析の8つの視点を参考に、各校の校内研修等で以下の授業記録を分析し、よい点や改善すべき点等を確認してみましょう。

教材名 忘れない夏 — 嘉藤栄吉 — 兵庫版道徳教育副読本「心ときめく」

主題名 希望と勇気、努力と強い意志

ねらい 3日間考え続けた時に、頭の上でひびいた「頭を上げろ！胸を張れ！」という言葉により道徳的に変化する主人公を通して、苦しくてもくじけず、前向きに努力しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

時間 (分 秒)	教 師	児童名等	児 童
0'00	スコアボードを拡大したものを掲示 何のスポーツでしょう。 (少しずつ得点板を広げて点数を見せていく) ふつう野球は9回でおわるよね。ところがこの試合では…		野球！ 0点ばかりや。 めっちゃ続いとる。 何回まで？ おー 0000… 1点入った。
9'00	家に閉じこもる3日間。嘉藤さんは何を考えていたのでしょうか。 どんなところが？ 自分のところにこなかったら、この失敗もないものね。 ごめんなさいっていうのがあったけど、誰か、嘉藤さんをミスしちゃいけないよってせめてたかな。 せめてないのにごめんなさいなんだね。	G G C 多数 H	自分って役立たずやなって悩んだと思います。 もう少しのところでちゃんとキャッチできなかったから。 あの時、自分のところにじゃなくて外野に飛んでたらよかったのにな。 せめてない。 自分はミスをしたから… チームのみんなも勝ちたかったけど、負けちゃったから。

<p>16' 00</p>	<p>自分が許せないのね。</p> <p>誰にあやまりましょうか？</p> <p>応援してくれてたもんね。</p> <p>こんないっぱい後悔しているような気持ちが嘉藤さんの中にはあったんだね。3日間こんな気持ちがいっぱい。</p> <p>ところが、4日目になりました。嘉藤さん変わりましたね。4日目にこの言葉が浮かんできました。</p> <p>「頭を上げろ。胸を張れ。」この言葉は、4日前に部長さんが言ってくれていたんだよ。だけど、3日間ずっとこんな気持ちでいっぱいだったけど、4日目にひびいてきたんだね。</p> <p>「頭を上げろ。胸を張れ。」という言葉がひびき、立ち上がった嘉藤さんは、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>どんな機会がある？</p> <p>チャンスというのとは？</p> <p>失敗ってというのは？</p> <p>ここの悩んでたところだね。</p> <p>戻せないね。</p> <p>努力ってどんなこと？</p> <p>次に進もうというのとはどんな感じ？</p>	<p>D 周りの人は大丈夫やでって言ってくれたんだけど、自分じゃ許せなかった。</p> <p>A Dさんと似ていて、ずっと自分を責めている。キャッチャーのせいやって思ってる人もいるかもしれへん。足が浮いたから。キャッチャーの人にもごめんて。</p> <p>C 申し訳ございませんって。</p> <p>C チームの人や明石の人や応援してくれた人。</p> <p>E エラーして、もうちょっと低く投げたらよかった。後悔してる。</p> <p>I 自分にはまだ機会がある。</p> <p>I 野球をして対戦する。</p> <p>E まだチャンスがある。</p> <p>E 失敗を乗り越えていけるチャンス。勝てるチャンス。</p> <p>E 悩んでたところ。</p> <p>F 終わったことをずっと悩んでいても時間は戻せないし、次の試合で勝つ。大丈夫。</p> <p>F 前の時間には戻せないから、次の試合でがんばろう！！</p> <p>B まだ、自分は努力ができるし、また戦いたいと思った。</p> <p>B みんなで練習するとか。</p> <p>J ずっと閉じこもっても、負けたのは戻せないから、次に進もう！</p> <p>J 練習して、自分の判断で。</p>
---------------	--	--

<p>30' 00</p>	<p>似たことでもいいから自分の言葉で言っていこう。</p> <p>勝とうと思ってどんなことするのか。</p> <p>考えても始まらないというのは？</p> <p>竹山部長さんは嘉藤さんにこの言葉を言いましたね。竹山さんは嘉藤さんにどんなことを伝えたかったのでしょうか。</p> <p>下向いたらだめなの？</p> <p>情けないって？</p>	<p>C ずっと考えてても、何も始まらないから、努力して次は勝ちたい。</p> <p>E 一からやり直す。</p> <p>C まだ1年あるから、次は勝とう。</p> <p>D 強くなって次の試合では勝ちたい。</p> <p>K 来年は勝ちたい。考えても仕方がないし。</p> <p>E 練習して。勝ちたい。自主練もして。</p> <p>B 思い切りするだけ。考えても始まらない。</p> <p>B 家に閉じこもって悩んでも、何か実行しないと変わらない。</p> <p>K 下向いてばかりだと、どうにもならないから、がんばったんだから。もういいよ。下向いたらだめ。</p> <p>K がんばったのに下向いてたら次が始まらない。</p> <p>F 絶対試合は勝つわけではないものやから、失敗もあるんやから、みんなで気合い入れたらいいんやから。がんばろう。</p> <p>L 下向いてたら情けないよ。</p> <p>L せっかくながらがんばってきたのに。だめになる。</p> <p>C みんなで一生懸命がんばったでしよと言いたい。</p> <p>B 次は勝とうなって嘉藤さんに言ってあげたい。</p> <p>D 失敗してもあきらめたらだめ。人間は完璧じゃないから。努力すればいい。</p>
---------------	--	---

教材名

未来に残そう 私たちの浄土寺 兵庫版道徳教育副読本「心ときめく」

主題名

伝統文化の継承

ねらい

夕日の差しこむ浄土堂の神々しい光景を見て、郷土の文化に気付き変化するひとみをとおして、我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り国や郷土を愛する心をもとうとする道徳的実践意欲を育てる。

時間 (分 秒)	教 師	児童名等	児 童
14' 00	<p>ひとみが浄土堂の中に入る。入っていった言葉が、これ。「ああ、私何にも…」皆さんに考えてほしい。</p> <p>「ああ。私何にも」ひとみはどんなことに気付いたのでしょう。</p> <p>もうちょっと付け加える？</p> <p>もうちょっと詳しく言ってほしいな、何を知った？</p> <p>今日初めて知った、なるほどね。</p> <p>もうちょっと詳しく、言えるんだったら</p> <p>何で？</p> <p>思っていたより？</p> <p>どんな気持ちかな？</p> <p>知らなかった。自分の言葉で。</p>	<p>N</p> <p>N</p> <p>N</p> <p>M</p> <p>M</p> <p>I</p> <p>P</p> <p>Q</p> <p>M</p> <p>M</p> <p>K</p> <p>R</p> <p>N</p> <p>S</p> <p>T</p>	<p>こんなにすばらしいとこだったんだ。</p> <p>何回も来てるのに、今日の今日、初めて知った。</p> <p>浄土堂に阿弥陀さまがあることを知った。</p> <p>周りで遊んでたけど初めて入った。</p> <p>近くに住んでいたけど東大寺と同じと初めて知った。</p> <p>ずっと住んでいたのに珍しいなんてびっくりした。</p> <p>太陽の光で光っている阿弥陀さまを見てはっとした。</p> <p>この世のものとは思えない神々しい。</p> <p>驚いている。</p> <p>はっ。</p> <p>自分が思っていたより神々しく美しかった。</p> <p>ずっと、初めて見た光景にはっとした。</p> <p>とてもすばらしくて、自分が思っていたより全然違う。</p> <p>普通のお寺と思っていた。</p> <p>今まで見たことがないくらいきれいで、いつも遊んでいただけではわからなかった。</p>

<p>声が出ない。</p> <p>一番きれい！</p> <p>浄土寺でいっぱい！ ラスト</p> <p>明日も来たい！</p> <p>もう1回考えてみます。こんな様子を見て、800年間ずっとある。何であるかという？</p> <p>守られている、みんながすごい景色を守ってきた、地域の人を守ってきた、それをひとみはどう思った？ 「ああ、私何も…」と言ったとき、もっといろんなことを思っていない？</p> <p>詳しく言えない？</p> <p>何で？</p> <p>ひとみはお姉さんを何とってる？</p> <p>何が悪かった？</p> <p>お姉さんは何で来たかった？</p> <p>お姉さんは言ってたよね、見せてあげると。</p> <p>悪いなあと思っているだけ？</p> <p>悪かったからありがとうが出てきたね。 ありがとうと思っている人、もっと詳しく言ってくれるかな。</p>	<p>U</p> <p>V</p> <p>N</p> <p>T</p> <p>多数</p> <p>W</p> <p>X</p> <p>X</p> <p>T</p> <p>Y</p> <p>N</p> <p>N</p> <p>M</p> <p>M</p> <p>M</p> <p>Z</p> <p>T</p> <p>A</p> <p>N</p> <p>B</p>	<p>美しすぎて声が出ない。</p> <p>今まで見た中で一番きれい。</p> <p>他のお寺と違って、頭が浄土寺でいっぱいになった。</p> <p>明日も来たい。</p> <p>地域の人が守っている。</p> <p>こんなに美しいものがあるのに、行きたくないって何で思ったんだろう。</p> <p>近くにいながら今日初めてお堂に入った自分を恥ずかしい。</p> <p>……</p> <p>浄土寺がよほどきれい。</p> <p>損した気分。</p> <p>心を奪われて、昔から浄土寺のすばらしさを見ていたらよかった。</p> <p>まさか、美しくて感動するものとは思わなかった。</p> <p>お姉さんがわざわざ東京から戻ってきて見たいと言った、お姉さんのこと何にもわかっていなかった。</p> <p>悪かったなあ。</p> <p>……</p> <p>赤ちゃんとひとみに見せたかった。</p> <p>お姉さんが見せたくて、ひとみのことを思っで見せてやりたいと思った。</p> <p>後悔してる。</p> <p>お姉さん、見せてくれてありがとう。</p> <p>お姉さんにつれて来てもらったからすばらしい光景が見れた。ありがとう。</p>
--	--	--

<p>37' 00</p>	<p>何でまた行きたくなった。</p> <p>教えてくれて、ありがとう。</p> <p>もっと詳しく。</p> <p>この浄土寺ってどれくらい続いた？</p> <p>この歴史、知ってる？</p> <p>いいやん。</p> <p>もう一度言って。</p> <p>もっと詳しく。</p> <p>どんな風に？</p> <p>今まで守ってきてくれたものって？できることってどんなこと？</p> <p>昔の思いを受け継ぐ、すごい言葉が出た、どんな思いでしょうか？</p> <p>Gさんにかわって（言って）。</p> <p>もっと見せてあげたい！</p> <p>もっといろんな人に。</p> <p>発表してない人は思いを書いてね。故郷を大事にすることを考えた。自分の思う故郷を大事にすることを書いて。（残り8分）</p>	<p>C 近くにあるすばらしいものを教えてくれた。</p> <p>O お姉さんと一緒に行って楽しかったし、行けたことでまた行きたくなってありがとう。</p> <p>O すばらしくて、何回も来てたのに知らなかった。</p> <p>D この美しいものを教えてくれて。</p> <p>N 浄土寺のことをもっと知りたい。</p> <p>N まだまだ浄土寺がわからなくて、今知ったから。</p> <p>(口々に、800年)</p> <p>T 地域の人が今まで守ってきてくれて。</p> <p>E 800年の歴史を知りたい。</p> <p>F 今度は私が。</p> <p>G 保ってきた年をもっと長く。</p> <p>H 自分からできることをしたい。</p> <p>N 他の地域に知らせたい。</p> <p>N 自分に来ることをしたい。</p> <p>N 守るのもそうだけど、美しさを広げていきたい。</p> <p>T 東大寺より有名になるくらい。</p> <p>G 昔の思いを受け継ぐ。</p> <p>G ……</p> <p>T 今まで見たことのない人に、もっと見せてあげたい。</p> <p>N 昔の人も大切にしてきた思いを友だちにも教えてあげたい。</p>
---------------	--	---

教材名

洋子の播州歌舞伎 ―伝統の若き継承者― 兵庫版道徳教育副読本「心 かがやく」

主題名

郷土の伝統と文化の尊重

ねらい

由香里と綾子の言葉を聞いて伝統をつなぐ意味を考える洋子をとおして、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しようとする道徳的実践意欲を育てる。

時間 (分'秒)	教 師	児童名等	生 徒
17' 00	<p>由香里の背中を見つめながら、洋子はどんなことを感じていたでしょうか。</p> <p>なぜ真剣にできないのですか。</p> <p>由香里のどういうところを見習いたいですか。</p> <p>他にはありますか。</p> <p>その次の日誰に会いましたか？</p> <p>綾子は、バスケ部に入部するときに、歌舞伎との両立は無理だと思って、歌舞伎をやめた人ですね。その綾子に、洋子は、自分が生き生きしていると言われました。</p> <p>ふるさとフェスティバルの公演後、観客からの拍手をどんな思いで聞いていたでしょうか。</p>	<p>H</p> <p>I</p> <p>J</p> <p>I</p> <p>K</p> <p>L</p> <p>M</p>	<p>自分は由香里みたいにもっと歌舞伎をしたい気持ちがあるが、真剣にできない。</p> <p>吹奏楽部のことが気になるから。</p> <p>自分と同じころ先輩は両立していたのに自分はできない。どうすればいいのか。</p> <p>伝統をつなぐ意味がわからない。</p> <p>大学生になっても歌舞伎を続けているし、学校と歌舞伎を両立しているところ。</p> <p>洋子は何のために歌舞伎を続けているのかわからなくなっていたが、由香里は伝統をつなぐと言った。それはどういうことかを考えていた。</p> <p>バスケ部の綾子さん。</p>
23' 00	<p>どうして続けていてよかったのですか。</p> <p>どんな思いでしたか。</p>	<p>N</p> <p>O</p> <p>D</p> <p>P</p>	<p>やめないで続けていてよかった。</p> <p>ふるさとフェスティバルが成功したから。</p> <p>今まで真剣に練習して、最後に拍手がなりやまなかったのが、辞めないでよかった。やり切って、いろんな人にほめてもらった。</p> <p>とてもうれしかった。</p>

<p>26' 00</p> <p>どういう気持ちだったと思いますか。</p> <p>なぜ、よかったと思ったのですか。</p> <p>いろいろな人とは、どんな人ですか。</p> <p>なぜ喜んでもらったのですか。</p> <p>他にはありますか。</p>		<p>Q 自分がやってきた歌舞伎で拍手をもらった。 伝統をつなぐという意味が分かった。 拍手がなりやまなかったので、やっていてよかった。</p> <p>R 伝統をつないでいくことがわかった。</p> <p>S 両方やっていて、歌舞伎をやり切れてよかった。</p> <p>T がんばった歌舞伎で拍手がもらえてよかった。</p> <p>U 今まで両立できるか不安だったが拍手をもらって続けてよかったと思った。 いろいろな人に楽しんでもらえてよかった。</p> <p>W 地元の人たち。</p> <p>X いろいろな人に拍手をもらえてよかった。 観客に喜んでもらえてよかった。</p> <p>Y 今まで吹部と歌舞伎で悩んだけど、歌舞伎をやってきて観客に拍手をもらってうれしかった。</p> <p>Z 自分が吹部と歌舞伎の両方で本当にいいのかと思ったが、フェスティバルで喜んでもらって自分がやってきたことがよかつと思った。</p>
<p>38' 00</p> <p>どういうところがやってきたよかったのですか。</p>		<p>Z 洋子も歌舞伎が好きで、好きなことをやって喜んでもらえると自信につながる。もやもやしていたが、由香里さんや綾子さんに支えてもらってちゃんと練習ができたから、本番でもちゃんとできて拍手がもらえてうれしかった。もやもやした気持ちをなくして演技だけのことを考えてできたからよかった。</p> <p>G 「伝統をつなぐ意味が本当にわかった」と言った。部活の両立など悩んでいたことが解決できて歌舞伎ができたから。</p>

V章 資料

1 学習指導要領における道徳教育の指導の観点（内容項目）

		小学校第1学年及び第2学年（19）	小学校第3学年及び第4学年（20）
A主として自分自身に関すること	善悪の判断、自律、自由と責任	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。	正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。
	正直、誠実	うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。	過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。
	節度、節制	健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。
	個性の伸長	自分の特徴に気付くこと。	自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと。
	希望と勇気、努力と強い意志	自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行うこと。	自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。
	真理の探究		
B主として人との関わりに関すること	親切、思いやり	身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。
	感謝	家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。
	礼儀	気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。	礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。
	友情、信頼	友達と仲よくし、助け合うこと。	友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。
	相互理解、寛容		自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。
C主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る。
	公正、公平、社会正義	自分の好き嫌いとらわれないで接すること。	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。
	勤労、公共の精神	働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。
	家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。	父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。
	よりよい学校生活、集団生活の充実	先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。
	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。	我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。
	国際理解、国際親善	他国の人々や文化に親しむこと。	他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。
D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。
	自然愛護	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。	自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。
	感動、畏敬の念	美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。	美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。
	よりよく生きる喜び		

は、教科化により新しく追加された内容項目

小学校第5学年及び第6学年 (22)	中学校 (22)	
自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	自主、自律、自由と責任
誠実に明るい心で生活すること。		
安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする	節度、節制
自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	向上心、個性の伸長
より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	希望と勇気 克己と強い意志
真理を大切にし、物事を探究しようとする心をもつこと。	真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	真理の探究 創造
誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	思いやり、感謝
日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。		
時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	礼儀
友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	友情、信頼
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	相互理解、寛容
法やさまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。	法や決まりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	遵法精神、公德心
誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	公正、公平、社会正義
働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	社会参画、公共の精神
	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	勤労
父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族愛、家庭生活の充実
先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中の自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	よりよい学校生活、 集団生活の充実
我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。	郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度
	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。	我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度
他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	国際貢献、国際親善
生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえない生命を尊重すること。	生命の尊さ
自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	自然愛護
美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。	美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	感動、畏敬の念
よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	よりよく生きる喜び

2 授業記録シート

教材名：

平成 年 月 日() 授業者 記録者

時間	教 師	児童生 徒名等	児 童 生 徒

※コピーして利用してください。

3 平成28年度 道徳教育実践研究事業推進地域等

平成28年度 道徳教育実践研究事業推進地域

地 区	学 校 名
神戸市	神戸市立歌敷山中学校
	神戸市立舞子小学校
阪 神	尼崎市立日新中学校
	尼崎市立七松小学校、尼崎市立立花南小学校、尼崎市立難波の梅小学校
	川西市立緑台中学校
	川西市立陽明小学校
播磨東	明石市立錦城中学校
	明石市立明石小学校
	小野市立小野南中学校
	小野市立来住小学校、小野市立市場小学校
播磨西	姫路市立大津中学校
	姫路市立南大津小学校、姫路市立大津小学校、姫路市立大津茂小学校
	たつの市立揖保川中学校
	たつの市立御津小学校
但 馬	豊岡市立竹野中学校
	豊岡市立竹野小学校
丹 波	篠山市立今田中学校
	篠山市立今田小学校
淡 路	淡路市立岩屋中学校
	淡路市立石屋小学校

平成28年度 兵庫県道徳教育実践推進協議会委員

	職 名	氏 名
学識経験者	関西学院大学大学院元教授	横 山 利 弘
	兵庫教育大学大学院教授	谷 田 増 幸
	兵庫教育大学大学院非常勤講師	行 本 美 千 子
	兵庫教育文化研究所事務局長	大 野 圭 一
学校関係者	小学校教育研究会道徳部会副会長（丹波市立和田小学校長）	谷 口 耕 平
	中学校教育研究会道徳部会会長（神戸市立北神戸中学校長）	田 中 重 明
	伊丹市立南小学校教諭	村 上 英 里
	小野市立河合中学校教諭	中 村 浩 司
	朝来市立和田山中学校教諭	岩 野 智 哉
	洲本市立安乎小学校教諭	岡 田 康 孝
行 政	姫路市教育委員会学校教育部人権教育課指導主事	中 安 美 津 子

参考資料（義務教育課ホームページ掲載）

- 指導資料「特別の教科 道徳」の全面実施に向けて（平成28年 3月）
平成27年度 道徳教育実践研究事業のまとめ
- 指導資料「道徳の時間」を要とした道徳教育の充実（平成27年 3月）
平成26年度 道徳教育実践研究事業のまとめ
- 指導資料「道徳の時間」の充実のために（平成26年 3月）
平成25年度 道徳教育実践研究事業のまとめ
- 指導資料 副読本の効果的な実践のために（平成25年 3月）
－平成23年度 道徳教育推進拠点校事業、平成24年度 道徳教育推進地域・推進校事業－
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/doutoku/shidoushiryou.pdf>
- 平成23年度「兵庫県道徳教育推進協議会」提言（平成24年 3月）
「深まり」と「つながり」のある道徳教育 －「兵庫版道徳教育副読本」の有効な活用をめざして－
- 指導の手引き「生命を尊重する心」と「規範意識」の育成（平成22年 3月）

指導資料

「特別の教科 道徳」の全面実施に向けて ②

平成29年3月

発行 兵庫県教育委員会

連絡先 〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL(078)341-7711(代表)

28教T1-015A4